

# 平成28年度事業報告書

平成29年5月18日

一般社団法人日本繊維機械協会

## 1. 貿易促進事業

### (1) ITMA ASIA+CITME 2016 の協賛事業

欧州繊維機械製造事業者団体(CEMATEX)と中国紡織機械器材工業協会(CTMA)等が共同開催する国際繊維機械展示会は、10月21日～25日に中国の上海市虹橋地区に新設された世界最大規模の展示会場「国家会展中心(NECC)」で開催されました。

日本繊維機械協会(以下、「協会」と略す。)は、CEMATEXとのパートナーシップ契約を締結し、国内の繊維機械メーカー及び関連事業者等へ広く展示会の開催告知等を実施した結果、我が国からの出展者は約40社で4.2千㎡(前回は38社、4.2千㎡)の出展となりました。

なお、ITMA ASIA+CITME2016全体の展示面積は17万㎡、前回に比べて12%増。出展者数は28カ国/地域1,673社で7%増でした。また、来場者数は102カ国/地域から10万人以上で、その内20%が中国国外から来ました。中国国外の訪問者の国別では、インド、日本、韓国、台湾、インドネシア、バングラデシュの順でした。

協会は、展示会の開催に向けて会場運営等に関する出展者の要望を主催者へ事前に申し入れを行いました。また、会期中は、会場内に設置した協会ブースで、我が国からの出展者一覧表や我が国繊維機械の生産及び輸出動向等の印刷物を配布し広報しました。

また、CEMATEX及びCTMA等の幹部と下記について情報交換を行いました。

#### ① CEMATEXとの意見交換(10月24日12:30～13:30)

CEMATEX: Mr. Fritz P.Mayer 新会長 Mr. Charles Beauvain 前会長

日織協: 村田副会長(村田機械)、寺岡GL(豊田自動織機)、萬井専務理事

・上海で開催するITMAASIA + CITMEの開催周期について

現行の2年周期を、3年周期あるいは4年周期にできないか等。

#### ② CTMA王会長との意見交換(10月24日15:00～16:00)

CTMA: 王会長、Mr.Cong 秘書

日織協: 萬井

当方からの求めにより開催。王会長の発言要旨は概要下記の通り。

・中国の繊維生産の伸び率は第I CQ～第III CQまで5～7%増で、前年より低い伸びに留まっている。これは、綿紡績業が国産綿花の価格が依然として国際価格に比して割

高なこと、綿花価格が安定しないこと等による。

- ・合繊/化繊も良くない。過剰設備問題が主因。他方で、レーヨンレーヨンスパンが綿花に代わって需要が強くて良い。また、不織布も衛生用、衣料用、工業資材向け等に良い。
- ・このような結果、繊維機械の輸入は国産品への代替が進展していることもあって減少している。なお輸入と国産の比率は2:8である。
- ・当方より、国民経済・社会発展第 13 次五カ年計画における繊維産業の位置づけについて問うたところ、前回の第 12 次計画では、太陽光、ベンチャー支援やナノ産業と言ったハイテク産業/高付加価値産業へのシフトを計画し、繊維産業は劣後した。今回の第 13 次計画に際しては、ハイテク/高付加価値産業へのシフトは簡単には達成できないし、雇用を生まない。他方で雇用機会の確保・所得分配の均一化等から労働集約的産業が一定以上は必要である旨建議した。
- ・昨年からの検討している標準化の進捗状況について問うたところ、紡績機械については業界規格を制定した。内容は、製造工程に係わる情報管理についてだ。製造メーカーが異なっても統一様式で情報を取り出し、生産等の状況を可視化する規格だ。これは強制規格ではない。日欧のメーカーが情報開示を認めたくないことはよく知っているが、顧客から情報開示を求められると断れないのではないか？これは、新たに設置する機械だけでなく、既に設置済みの機器についても同様だ。現在はニットの規格を検討している。

### ③ その他の機関との意見交換

#### ③-1 ロシア通商代表部とロシア繊維メーカー(20数社)

- ・日本の繊維機械をロシアが輸入するに際しての日本政府の補助金の有無、輸出信用供与等について

#### ③-2 ドイツ機械工業連盟(VDMA)

- ・双方の組織、所掌事務及び活動等について

### ④ 出展者のアンケート結果

8 割の出展者は3回以上の出展経験があり、総合満足度は4割が満足、5割が普通であった。来場者数は普通(4割)、少ない(4割)で、商談への手がかかり、出展目的の達成度

及び運営についてはいずれも普通との回答が7割を占めた。次回 2018 の出展床面積については 8 割が今回と同じと回答した。

なお、出展者からの改善要望項目である下記については主催者へ申し入れする。

【 申込等 】 申込システムはエラーが多発するので改善が必要。WEB登録の承認状況がわからない。ビジター入場券の事前支払い方法が Paypal のみで不自由、クレジットカードでの支払いも可能にして欲しい。

【 事前通知 】 Pre-Arrival Information Kit を遅くとも準備期間の 1 ヶ月前に発行して欲しい。船積日の 20 日以上前に現地通関書類の提出を求められたが、もう少し期間を短くして欲しい。

【 搬入搬出 】 トラック搬入経路が狭く渋滞が起こる。渋滞の原因の一つに、地元の小間業者がトラックからベニヤ板などを一枚一枚人手で下ろして時間がかかっている。パレットに積んでフォークで下ろすように指導して欲しい。展示ホール近くにコンテナ倉庫を置く場所が少ない。搬入初日や搬出初日は、通路はトラック 2 台入れれば完全にふさがり、ルールを設けないとトラックで身動きが取れなくなる。

【 入場ゲート 】 出展者の朝の入場時の手荷物検査で長時間待たされた。入退場口が狭く、ゲートの数を増やすべき。

【 館内設備 】 初日は会場の空調が全く効かず暑く非常に不快。2, 3階へ上がるエスカレーターに屋根が無く雨に濡れる。隣接ブースの壁裏面がむき出しであり要改善。エアーや電気の供給について、会場側からの説明が二転三転した。2Hホールは他のブースの準備が整っていない為、予定入電日を遅らせるなど会場側の都合で工事予定が変更され非常に困った。雨によりコンプレッサーに水がたまり、機械を止めざるを得ない時間帯があった。会場のインフラが良くない。

【 食堂 】 準備・撤収期間中に場内レストランが閉まっている。外部のケータリング会社を利用できない、場内のレストランはコスト、サービス共に最悪。会場内レストランは非常に混雑しており、食事用テーブルが無く不便。

【 トイレ 】 国際展示場なのに洋式のトイレがない。

【 館内地図等 】 アクセスに問題あり。(車から降ろされたところから会場まで遠い、帰りのタクシー乗り場が判らない。午後6時に会場を出ると照明が無く危険)。館内の移動

が分かりづらい。東西南北のどの出入り口から入場出来るか分かりにくく、待ち合わせも難しかった。全体的に地図が不足していた。

【 運営 】 ブース設営のレギュレーションを苦勞して守ったのに、守っていないブースが多数有り。実演時間を守らない出展企業が多数あり。

## (2) India ITMA2016 への参画

India ITMA Society が主催する 10th India International Textile Machinery Exhibition は、12月3日～8日の会期でインド・ムンバイの Bombay Convention & Exhibition Centre で開催されました。我が国から 13 社が出展しました。

### India ITMA2016 の概要

	第8回	第9回	第10回
開催年	2008年	2012年	2016年
来場者数(千人)	87	147	100以上
出展企業数	750	848	1,050
出展面積(千㎡)	65	100	?

かねてより、会員企業から、インドは我が国の第二の輸出国であることから新たな意見交換のチャンネルを構築する。展示会場の設備改善を求める声があること等を受けて萬井が出張しました。

会期中、主催者等下記メンバーと、今後の India ITMA の展示会の開催周期、展示会場の設備改善等について意見交換しました。

Mr. Sanjiv Lathia Chairman India ITMA Society

Ms. Seema Srivastava Executive Director India ITMA Society

Dr. Chandan Chatterjee Advisor Govt. of Gujarat

なお、日本からの出展者アンケートの結果は、ほとんどの出展社が 3 回以上出展した会社で、前回との比較では、来場者数と商談への手掛かりはほぼ前回と同じであった。

(3) ITMA ASIA2018(中国・上海にて 10月26日～30日)及び ITMA2019(スペイン・バルセロナにて 6月20日～26日)への参画等については、二つの国際展示会の事務局である ITMA Services と我が国からの出展者募集策(主として縫製機械、紡績/化学繊維産業等)及び契約書について意見交を実施しました。

## 2. 調査研究事業

### (1) 繊維機械統計表の作成

協会は、我が国の繊維機械の生産活動等の実態把握を目的として、その生産（生産動態統計調査：経済産業省）、輸出・輸入（貿易統計調査：財務省）及び受注（機械受注統計調査：内閣府）に関する統計資料を広く収集し、輸出・輸入統計については生産動態統計調査と品目の概念範囲が整合的になるように（紡績機械や織機といったいわゆる品目概念で生産から輸出・輸入の需給動向を一覧で利用することが可能となる。）協会で加工集計して「繊維機械統計表」を作成しました。

### (2) 我が国貿易統計について

上記繊維機械統計表の内、輸出統計品目表及び輸出申告上の問題もあって、生産と整合的な概念で輸出動向を把握できない一部の品目が存在している。そこで、協会は生産統計の分類をベースとして貿易統計分類の概念整理を行った。

今後は、生産統計と分類上の齟齬が生じないように輸出動向を把握するための方策（一部品目については貿易統計によらずに協会独自集計により対応する。）について関係企業と今後の作業体制等について意見交換を実施しました。

### (3) 歴史的な繊維機械の情報収集等調査

#### (3)-① 産業技術史資料調査協力について

国立科学博物館では、我が国における産業技術史資料の収集、公開及びこれらに係わる情報の提供等に関する事業を行うため、平成14年に産業技術史資料情報センターを設置し、今日、散逸または失われつつある産業技術史に関する資料の総合的調査研究を進めています。

なかでも産業技術史資料の所在調査は、各産業分野・技術分野の学会・工業会・協会等と協働し、傘下の会員法人が使用ならびに保管している産業技術史資料の存在を明らかにするもので、これまでに、185の団体と協働し、13,948件の産業技術史資料の存在を明らかにしてきました。

今般、協会は会員企業に対して、各社が保有する産業技術史資料の提供を求めたところ、5社から産業技術史（143件）の提供を受け、3月末に公開しました。

ご参考までに、国立科学博物館 HP のデータベース上の繊維機械に関する技術

の情報サイトは下記です。<http://sts.kahaku.go.jp/sts/result.php?c=1147>

また、未登録の会員企業におかれましては、追加はいつでも可能ですので、社内に保存する『20世紀の産業遺産』として次世代に継承していく産業技術情報の提供の提供をお願いします。

#### (3)-② 伝統的な繊維産業支援

全国の絹織物産地から、いわゆる力織機の供給要請がなされている現状に鑑み、博多織工業組合を通じて現地実態調査を実施した。訪問した工場で使用していた力織機は木製と金属製で、廃業した他の産地から中古機を入手し(一部は部品取りとして保有)活用していた。製品の調整や修理といった人材支援を望んでいた。

#### (4) 生産見通しの作成

会員企業を対象として、平成 29 年度の生産見通しについて調査し、関連団体を通じて公表された。

#### (5) CTMA との協力事業

CTMA との間で、統計資料の相互交換を継続して実施する件については、次年度へ繰り越すこととする。

### 3. 知的財産研究活動の推進(知的財産専門委員会活動)

#### (1) 特許庁を訪問

委員長及び副委員長等と 9 月 8 日に特許庁を往訪し、当方からの日織協の団体概要、知財委員会活動のご紹介及び ITMA2015 の報告(王会長との会合内容)等について説明するとともに、ITMAASIA2016 に向けての情報収集と意見交換を行った。

#### (2) ITMA ASIA+CITME 2016 における活動について

##### (2)-① CTMA・IPR 担当(10 月 23 日)

展示会場における IPR Office 運用に関する実務の手続き等について意見交換した。CTMA の担当者からは、処理は規則に基づいて処理しており、スピーディに行っている。商標権や意匠権での申立は処理しやすいとのこと。

また、当方から、前回の案件で結果が分からないケースがあったので情報開示を求めたところ改善を約束した。展示会期外に知財侵害を見つけた場合への対応は、現地の知

識産権局へ申立してほしいとのこと。CTMAはJTMAと協力して、展示会の品質を上げるという共通の目的のために、IPR OFFICE の運用改善に今後も共同して取り組んでいくこととした。

次に、CTMA内の知財紛争に関する調停については、担当部署、これまでの処理件数等を確認したが、処理ルールは未だ確立していないとを確認した。

(2)-② CEMATEX・IPR 担当と(10月24日)

CEMATEX に知財の専門家との意見交換を求めたところ、ACIMIT (the Association of Italian Textile Machinery Manufacturers) の専門家の紹介を受け、下記意見交換した。

CEMATEX 内においては、法律担当と技術担当者の2名が対応している。

ACIMIT の会員構成及び活動内容等について説明があった。

なお、CEMATEX 事務局からも、これまでの ITMAASIA における知財活動について説明があった。なかでも、「2014年には、IPR OFFICE の撤去命令を無視した出展者が公安に連行され、収監された例がある。CTMA の調停は理想的な解決方法の一つだが、CTMA が明確な手続きをもって行っているのか疑問があり、懐疑的である。今後ともJTMAと情報共有して知財活動を推進していきたい。」

(2)-③ JETRO 上海・知財部長(10月25日)

JETRO 上海の知財部長より、中国における知財に関する取組み等の紹介を受けた。なかでも、「中国は訴訟大国で、米国も凌ぐ提訴件数を抱えている。技術革新を推進する政府方針もあり、訴訟の相手国は、日本のみならず諸外国を相手とする状況にある。また、中国は「人治」から「法治」国家へと変遷中であることにも留意が必要。

(3) 第50回知的財産専門委員会を開催

12月16日(金) 機械振興会館内にて、ITMA2015における会場内での模倣品の実態やその対策等について知財委員会を開催した。特許庁繊維機械担当審査長「最近の特許施策について」、委員より、「CTMA,CEMATEX,JETRO との意見交換の内容」、「IPR 申立した案件の概要」及び「ITMA ASIA 2016における自社の活動」について報告がなされ、産業機械課担当官を交えて情報共有を図った。



#### 4. 標準化委員会の活動について

##### (1) これまでの経緯

本委員会は、繊維機械及び付属品に関する規格についての改定見直し、並びに規格の制定を行うことを目的として、1980(昭和50)年に発足した任意団体である日本繊維機械標準化協議会が2016(平成28)年5月19日を以て解散したことに伴い、その業務を引き継ぐために当協会内に設置された委員会である。

事業の主な目的は、次の2つである。

- ① JIS規格原案改正調査に関する事業(「日本工業標準規格改正原案作成事業」)
- ② ISO(国際標準化機構)への審議回答に関わる事業(「国際繊維機械規格回答原案調査作成事業」)

##### (2) 平成28年度における活動

###### ① JIS(日本工業規格)の定期見直し調査

繊維機械及び付属品関係のJIS規格は現在32件あり、5年毎に定期見直しが行われてきているが、当協議会では、(一財)日本規格協会(JSA)の調査依頼を受けて、毎年、見直し調査を実施してきた。

平成28年度においては、見直し期限を迎える規格がなかったことから、関連調査(アンケート調査)等は実施しなかった。

###### ② 国際規格の定期見直し及び作成原案への対応

繊維機械及び付属品(TC72)の国際規格に関しては、国際標準化機構(ISO)から随時、加盟国/団体に諮問(投票依頼)があり、TC72の国内審議団体である当協会では、関係規格案件の審議に対応した。

平成28年度における審議案件は、定期見直し(SR)50件、国際規格原案(DIS)1件で、その内容は別紙1.に記載のとおりである。なお、SRについては、業種別の分科委員会(SC=Subcommittee)ごとに分類した。その内訳は、SC1<2件>、SC3<25件>、SC4<13件>、SC5<4件>、SC8<6件>となっている(巻末別紙1.参照)。

## 5. 広報等繊維機械の普及促進事業

ITMAASIA2016 での広報普及活動に加え、協会の事業活動、繊維機械に関する統計データ、会員企業の展示会情報、経済産業省や関連団体等の各種情報(ロボット革命推進協議会における IoT による製造ビジネス変革等について)を発信した(巻末別紙2. 参照)。

## 6. 関係機関との交流及び協力

### (1) 行政機関等への協力

#### ① 生産性向上設備投資促進税制及び中小企業等経営強化法に基づく固定資産税減税措置に伴うに証明書の発行について

協会は平成 26 年 3 月 1 日から証明書発行を開始し、申請者からの事前相談への対応、申請書の審査・発給に務め、平成 28 年度では 942 件の証明書を発行した。なお、証明書発行を開始してからの累計は 1,923 件となった。

税制名	生産性向上促進税制			中小企業経営力強化法		
	合計	会員企業	非会員	合計	会員企業	非会員
平成26年度	445	258	187	-	-	-
平成27年度	536	352	184	-	-	-
平成28年度	585	406	179	357	279	78
合計	1,566	1,016	550	357	279	78

#### ② 行政機関及び関係諸団体等からの要請に応え、繊維機械業界の生産見通し等各種調査等に協力した。

### (2) 関連協会との情報共有等について

繊維等関連産業団体等との連携強化については、一般社団法人日本縫製機械工業会(ミシン)とは緊密に意見交換等を実施したが、日本紡績協会及び日本アパレル・ファッション産業協会、繊維輸出入組合及び日本化学繊維協会等繊維産業団体とは活動できなかった。

## 7. トップセミナーの実施

日本電気株式会社執行役員副社長の石黒憲彦様(前・経済産業審議官)をお招きして「アベノミックスと TPP、そして日本の競争優位とは何か」とのテーマでご講演いただきました。

要旨は、従来の日本経済は縮小均衡であった。よって、付加価値の増大と消費拡大を目的とした世帯所得の増大が必要である。そのためには、単なる能力増強投資よりも、IoT、ロボット、省エネによる生産性革命投資が重要。また、労働力の維持のためにも、女性・高齢者・外国人材の活用や出生率の向上を推進する必要がある等講演された。

## 8. 一般社団法人(協会)関連業務

総会の決議を踏まえて、所要の報告を内閣府へ6月に行った。

## 9. 総務事項 について(開催日付順)

### (1) 参与会、理事会及び総会等の開催について

#### ① 第130回理事会(書面審議)

日時 平成28年4月28日(木)に決議

第1号議案 平成27年度事業報告(案)について

第2号議案 平成27年度収支決算書等(案)について

第3号議案 平成27年度公益目的支出計画実施報告書等の提出(案)について

第4号議案 任期満了に伴う役員の改選(案)について

第5号議案 参与委員の選任について

第6号議案 定款の一部変更について

第7号議案 標準化委員会(仮称)の設立について

第8号議案 第51回定時総会の招集及び提出議案(案)について

#### ② 第131回理事会

日時 平成28年5月19日(木)11:20~12:00

場所 東海大学交友会館「富士の間」

- 第1号議案 平成27年度事業報告(案)について
- 第2号議案 平成27年度収支決算書等(案)について
- 第3号議案 平成27年度公益目的支出計画実施報告書等の提出(案)について
- 第4号議案 平成28年度事業計画書について
- 第5号議案 平成28年度収支予算書について
- 第6号議案 任期満了に伴う役員の改選(案)について
- 第7号議案 参与委員の選任について
- 第8号議案 定款の一部変更(案)について
- 第9号議案 標準化委員会(仮称)の設立について
- その他 報告事項

③ 第51回定時総会

日時 平成28年5月19日(水) 12:00~12:20

場所 東海大学校友会館「富士の間」

- 第1号議案 平成27年度事業報告(案)について
- 第2号議案 平成27年度収支決算書等(案)について
- 第3号議案 平成27年度公益目的支出計画実施報告書等の提出(案)について
- 第4号議案 任期満了に伴う役員の改選(案)について
- 第5号議案 定款の一部変更(案)について
- その他 報告事項

④ 第132回理事会

日時 平成28年5月19日(木)12:20~12:25

場所 東海大学交友会館「富士の間」

- 議題1. 任期満了に伴う役員の改選(案)について

⑤ 第260回参与会

日時 平成28年9月15日(木)

場所 (株)豊田自動織機東京支社会議室

議題1. 第133回理事会及び第52回総会の開催について

議題2. ITMAASIAの開催周期について

議題3. ITMAASIA2016における知財委員会の活動(案)について

議題4. 歴史的な繊維機械の技術情報と力織機へのたいおうについて

議題5. 年度上半期の業務の執行状況について

議題6. 直近の経済産業省の動き「予算・税制要求」について

議題7. その他

⑥ 第134回理事会(書面審議)

日時 平成28年10月17日(月)に決議

第1号議案 理事の選出について

第2号議案 第52回臨時総会の招集と提出議案について

⑦ 第133回理事会

日時 平成28年11月10日(水) 16:25～17:05

場所 (株)豊田自動織機 シャインズ 5階「プラザA・B」

議題1. 会員代表者の変更について

議題2. 理事の選任について

議題3. 本年度事業の進捗状況について

⑧ 第52回臨時総会

日時 平成28年11月10日(水) 16:25～17:05

場所 (株)豊田自動織機 シャインズ 5階「プラザA・B」

議題1. 理事の選任について

⑨ 賀詞交換会

日時 平成29年1月12日(木)12:00~13:30

場所 東海大学校友会館「望星の間」

⑩ 第261回参与会

日時 平成29年2月10日(金)

場所 (株)島精機製作所役員会議室

議題1. 平成29年度の事業計画のポイントについて

議題2. 平成28年度の決算見込みと平成29年度の予算案について

(2) 役員の変更

理事の変更(11月10日付)

株式会社岩間織機製作所

(新) 佐々木 憲夫 代表取締役社長

(旧) 土本 幸久 代表取締役社長

(3) 会員代表者の変更

株式会社岩間織機製作所(6月8日付)

(新) 佐々木 憲夫 代表取締役社長

(旧) 土本 幸久 代表取締役社長

東久株式会社(6月8日付)

(新) 佐々木 憲夫 代表取締役社長

(旧) 土本 幸久 代表取締役社長

(4) 会員の異動

① 入会

なし

② 退会

なし

(5) 期末会員数(平成29年3月31日現在)

(法人数)

会 員	28年度末	27年度末
正 会 員	22	23
法人会員	21	22
団体会員	1	1
賛助会員	10	9
合 計	32	32

別紙1. 国際規格の定期見直し及び作成原案の一覧

(1) 国際規格の定期見直し及び作成原案への対応

◇SC 1<紡織準備精紡及び撚糸機>

	規格番号	標 題	投票締切/開始
1	ISO 9904:2000 (Ed 2, vers 3)	繊維機械及び付属品～紡績準備及び紡績機械用 鋼ピン(修正 2、第 3 版)	締 切 : 2016.06.15 (開始:2016.01.15) <承認>
2	ISO 26243:2007 (vers 2)	スフ紡績用カード～用語及び構造原理(第 2 版)	締 切 : 2016.09.15 (開始:2016.04.15) <承認>

◇SC 3<製布機械>

	規格番号	標 題	投票締切/開始
1	ISO 364:1983 (vers 5)	繊維機械及び付属品～ヘルドフレームを持つ機用 ツインワイヤ(第 5 版)	締 切 : 2016.12.05 (開始:2016.07.15) <承認>
2	ISO 366-1:1988 (vers 4)	繊維機械及び付属品～おさ～ 第 1 部:ピッチバウンドリード～寸法(第 4 版)	同 上
3	ISO 576:1976	繊維機械及び付属品～管変更自動織機のシャトル	同 上



	(vers 5)	～寸法(第5版)	
4	ISO 2544:1975 (vers 5)	繊維機械及び附属品～整経機～機織り用縦糸の 作成～用語(第5版)	同上
5	ISO 2748:1983 (Ed 2, vers 6)	繊維機械及び附属品～整経機～機織り用縦糸の 作成～用語(修正2、第6版)	締切： 2016.12.05 (開始:2016.07.15) <承認>
6	ISO 5240:1994 (Ed 2, vers 4)	繊維機械及び附属品～整経クリール～主要寸法 (修正2、第4版)	同上
7	ISO 5247-2:1989 (vers 5)	繊維機械及び附属品～織機～第1部:分類及び 用語(第5版)	同上
8	ISO 6176:1994 (Ed 2 vers 4)	繊維機械～たて糸のり付機～最大有効幅 (修正2、第4版)	同上
9	ISO 8116-6:1995 (Ed 2, vers 4)	繊維機械及び附属品～巻き付け用ビーム～ 第6部:リボン製織及びリボン編成用ビーム (修正2、第4版)	同上
10	ISO 8116-7:1995 (vers 4)	繊維機械及び附属品～巻き付け用ビーム～ 第7部:染色スライバ、粗紡及び糸用ビーム (第4版)	同上
11	ISO 8116-8:1995 (vers 4)	繊維機械及び附属品～巻き付け用ビーム～ 第8部:振れ許容差の定義及び測定方法 (第4版)	同上

12	ISO 8116-9:1991 (vers 4)	繊維機械及び附属品～巻き付け用ビーム～ 第 9 部:織布用染色ビーム(第 4 版)	同 上
13	ISO 10787-1:1994 (vers 4)	繊維機械及び附属品～ヘルドフレーム～ 第 1 部:バーサポートによってフレームスティーブ に固定されたヘルドバー～調製寸法(第 4 版)	同 上
14	ISO 10787-2:1994 (vers 4)	繊維機械及び附属品～ヘルドフレーム～ 第 2 部:フレームスティーブに直接固定された ヘルドバー～調製寸法(第 4 版)	同 上
15	ISO 10787-3:1994 (vers 4)	繊維機械及び附属品～ヘルドフレーム～ 第 3 部:ヘルドフレームの手引(第 4 版)	同 上
16	ISO 11677-1:1994 (vers 4)	繊維機械及び附属品～オープンエンドループを 持つフラットヘルドの主要寸法～第 1 部:C 形 エンドループ(第 4 版)	同 上
17	ISO 11677-2:1994 (vers 4)	紡織機械及び附属品～開エンドループ・フラット ヘルドの主要寸法～第 2 部:J 形エンドループ (第 4 版)	締 切 : 2016.12.05 (開始:2016.07.15) <承認>
18	ISO 11677-3:1995 (vers 4)	紡織機械及び附属品～開エンドループ・フラット ヘルド 及び対応ヘルドバーの主な寸法～ 第 3 部:C 形及び J 形エンドループヘルドバー (第 4 版)	同 上
19	ISO 11825:1995 (vers 4)	紡織機械及び附属品～編機用べら針～シャンク幅 及びフック高さの調整(第 4 版)	同 上
20	ISO 13435:2011	繊維機械及び附属品～電気縦止装置のドロップ	同 上

		ワイヤ用バー	
21	ISO 13552:1994 (vers 4)	紡織機械及び附属品～クロスローラ～ローラ交換 の自動化のための接続仕様(第4版)	同上
22	ISO 8116-2:2008 (Ed 3,vers 2)	繊維機械及び付属品～巻き付け用ビーム～ 第2部:整経ビーム(修正3、第2版)	締切: 2017.06.05 (開始:2017.01.15) <審議中>
23	ISO 8116-3:2008 (Ed 3,vers 2)	繊維機械及び付属品～巻き付け用ビーム～ 第3部:ウィーバースビーム(修正3、第2版)	同上
24	ISO 8116-4:2008 (Ed 3,vers 2)	繊維機械及び付属品～巻き付け用ビーム～ 第4部:ウィーバースビーム、整経ビーム及び セクショナルビーム用フランジの試験方法及び 品質分類(修正3、第2版)	同上
25	ISO 8116-5:2008 (Ed 3,vers 2)	繊維機械及び付属品～巻き付け用ビーム～ 第5部:経編機用セクショナルビーム (修正3、第2版)	同上

◇SC4<染色仕上げ機械>

	規格番号	標 題	投票締切/開 始
1	ISO 1036:1984 (Ed 2,vers 5)	繊維機械～染色仕上機械～左側及び右側の定義 (修正2、第5版)	締切:2016.12.05 (開始:2016.07.15) <承認>

2	ISO 1505:1993 (Ed 2, vers 4)	繊維機械～染色仕上機械の幅～呼び幅の定義 及び範囲(修正 2、第 4 版)	締切:2016.12.05 (開始:2016.07.15) ＜承認＞
3	ISO 1506:1982 (vers 5)	繊維機械～染色仕上機械及び関連機械～分類法 及び名称(第 5 版)	同 上
4	ISO 5248:2003 (Ed 2, vers 2)	繊維機械及び附属品～染色仕上機械～補助装置 の用語(修正 2、第 2 版)	同 上
5	ISO 5250:2003 (Ed 2, vers 2)	繊維機械及び附属品～染色仕上機械～幅出し 及び加熱処理の用語(修正 2、第 2 版)	同 上
6	ISO 6178:1983 (vers 5)	遠心分離機～構造及び安全規則～筒形遠心分離 ローターの胴内における接線応力の計算法 (第 5 版)	同 上
7	ISO 10457:2002 (Ed 2, vers 2)	繊維機械～染色仕上機械～公称速度 (修正 2、第 2 版)	同 上
8	ISO 10458:1993 (vers 3)	繊維機械～染色仕上機に関連する巻取装置部の 角鋼～寸法(第 3 版)	同 上
9	ISO 10459:1992 (vers 4)	繊維機械～染色仕上機械～構成要素の動作範囲 の指示(第 4 版)	同 上
10	ISO 11659-2: 2004 (vers 2)	繊維機械及び附属品～繊維処理油と接触する 機械部品～第 2 部: 高分子材料に対する影響の 測定(第 2 版)	同 上

11	ISO 11659-3: 2004 (vers 2)	繊維機械及び付属品～繊維処理油と接触する 機械部品～第 3 部:ラッカに対する影響の測定 (第 2 版)	同 上
12	ISO 5249:1988 (vers 4)	繊維機械及び付属品～染色機及び加工機のガイド ローラ～主要寸法(第 4 版)	締 切 : 2017.06.05 (開始:2017.01.15) <審議中>
13	ISO 11659-1: 1995 (vers 4)	繊維機械及び付属品～繊維処理油と接触する 機械部品～第 1 部:鋼に対する耐腐食性効果の 測定(第 4 版)	同 上

◇SC 5<工業用洗濯機器及びドライクリーニング・マシン>

	規格番号	標 題	投票締切/開 始
1	ISO 8229:1991 (vers 5)	ドライクリーニング・マシンに関する操作及びバス～ 用語(第 5 版)	締 切 : 2016.06.15 (開始:2016.01.15) <承認>
2	ISO 8230-1:2008 (vers 2)	ドライクリーニング・マシンの安全事項～ 第 1 部: 共通安全事項(第 2 版)	同 上
3	ISO 8230-2:2008 (vers 2)	ドライクリーニング・マシンの安全事項～ 第 2 部: パークロロエチレンを使用する機械(第 2 版)	同 上
4	ISO 8230-3:2008 (vers 2)	ドライクリーニング・マシンの安全事項～ 第 3 部: 可燃性溶剤を使用する機械(第 2 版)	同 上

◇ SC 8<繊維機械の安全制御>

	規格番号	標 題	投票締切/開始
1	ISO 11111-2:2005 (vers 2)	繊維機械~安全要求基準~第2部: 紡績準備機 及び精紡機(第2版)	締 切 : 2017.06.05 (開始:2017.01.15) <審議中>
2	ISO 11111-3:2005 (vers 2)	繊維機械~安全要求基準~第3部: 不織布 (第2版)	同 上
3	ISO 11111-4:2005 (vers 2)	繊維機械~安全要求基準~第4部: ヤーン加工、 コード及びロープ製造機械(第2版)	同 上
4	ISO 11111-5:2005 (vers 2)	繊維機械~安全要求基準~第5部: 製織及び 編物準備機械(第2版)	同 上
5	ISO 11111-6:2005 (vers 2)	繊維機械~安全要求基準~第6部: 織物製造機 (第2版)	同 上
6	ISO 11111-7:2005 (vers 2)	繊維機械~安全要求基準~第7部: 染色仕上機 (第2版)	同 上

②国際規格原案(DIS=Draft International Standard))

	規格番号	標 題	投票締切/開始
1	ISO DIS 368(Ed 5)	紡績準備、紡績及びダブリング(撚糸)機械～ リング精紡、ダブリング及び撚糸スピンドルのための チューブ、デーパー1:38 及び 1:64(修正 5)	締 切 : <b>2017.06.04</b> (開始:2017.03.13) <審議中>

(2) 国際規格の発行

次の最終国際規格案(FDIS)が2016年9月18日付で承認され、同日付で国際規格として成立(発行)された。

規格番号	標 題
96-1:2016	繊維機械及び附属品～リング精紡機及びリング合糸機のリング及びトラベラ～ 第1部:フランジリング T 及び SF 及びそのトラベラ

(3) 国際規格の廃止提案

廃止提案対象の23規格(SC3<製布機械>)については、SC3の委員による審議の結果、廃止6件、見直し10件、再審議要請7件となった。因みに、ISOは、廃止対象規格の取扱いについては、次のような基準を定めている。

《当該SCで審議の結果、対象規格に反対票が生じた場合、

1. 対象規格が最低5か国以上で使用されているか否かを3か月以内に審議する。
2. 審議の結果、対象規格が最低5か国以上で使用されていることが充分証明された場合、当該規格の廃止はTMB(技術管理評議会)により撤回される。
3. 審議の結果、反対がない場合、或いは、当該規格が最低5か国以上で使用されている

ことが 3 か月以内に十分に証明されない場合、当該規格は廃止される。なお、審議中の 3 か月間、当該規格は保留扱いとなる。》

① 廃止

	規格番号	標 題	投票締切 / 開始
1	ISO 366-1:1994	繊維機械及び付属品～おさ～ 第 1 部:パッチバウンド・リード～寸法	締切:2017.2.26 (開始:2017.01.01)
2	ISO 576:1976	繊維機械及び付属品～管変更自動織機のシャトル ～寸法	同 上

	規格番号	標 題	投票締切 / 開始
3	ISO 2748:1983 (Ed 2)	繊維機械及び付属品～ジャカード機用矢金 (第 2 版)	締切:2017.2.26 (開始:2017.01.01)
4	ISO 13552:1994	繊維機械及び付属品～クロスローラー～ローラ 交換の自動化のための接続仕様	同 上
5	ISO11659-2:2004	繊維機械及び付属品～繊維処理油と接触する 機械部品～第 2 部:高分子材料に対する影響の 測定	締切:2017.03.14 (開始:2017.01.15)
6	ISO11659-3:2004	繊維機械及び付属品～繊維処理油と接触する機械 部品～第 3 部:ラッカに対する影響の測定	同 上



② TMB(技術管理評議会)で見直し中

	規格番号	標 題	投票締切/開始
1	ISO 364:1983	繊維機械及び付属品～ヘルドフレームを持つ機用 ツインワイヤ	締 切 : 2017.03.14 (開始:2017.01.15)
2	ISO 5240:1994 (Ed 2)	繊維機械及び付属品～整経クリール～主要寸法 (第 2 版)	同 上
3	ISO8116-9:1991	繊維機械及び付属品～巻き付け用ビーム～ 第 9 部: 織布用染色ビーム	同 上
4	ISO10787-1:1994	繊維機械及び付属品～ヘルドフレーム～ 第 1 部: バーサポートによってフレーム スティーブに固定されたヘルドバー～調整寸法	同 上
5	ISO11677-2:1994	繊維機械及び付属品～開エンドループ・フラット ヘルドの主要寸法～第 2 部: J 形エンドループ	同 上
6	ISO10787-3:1994	繊維機械及び付属品～ヘルドフレーム～ 第 3 部: ヘルドフレームの手引き	同 上
7	ISO10787-1:1994	繊維機械及び付属品～ヘルドフレーム～ 第 1 部: バーサポートによってフレーム スティーブに固定されたヘルドバー～調整寸法	締 切 : 2017.03.14 (開始:2017.01.15)

8	ISO11677-2:1994	繊維機械及び付属品～開エンドループ・フラットヘルドの主要寸法～第2部:J形エンドループ	同上
9	ISO11677-3:1995	繊維機械及び付属品～開エンドループ・フラットヘルド及び対応ヘルドバーの主な寸法～第3部:C形及びJ形エンドループヘルドバー	同上
10	ISO 13435:2011	繊維機械及び付属品～電気縦止装置のドロップ・ワイヤーバー	同上

③再審議要請中

	規格番号	標 題	投票締切/開始
1	ISO 2544:1975	繊維機械及び付属品～整経機～機織り用縦糸の作成～用語	締切:2017.03.14 (開始:2017.01.15)
2	ISO5247-2:1989	繊維機械及び付属品～織機～第2部:付属品～用語	同上
3	ISO 6176:1994 (Ed 2)	繊維機械～たて糸の糊付け機～最大有効幅 (第2版)	同上
4	ISO 8116-6:1995 (Ed 2)	繊維機械及び付属品～巻き付け用ビーム～第6部:リボン製織及びリボン編成用ビーム (第2版)	同上

5	ISO 8116-7:1995	繊維機械及び付属品～巻き付け用ビーム～ 第7部: 染色スライバー、粗紡及び糸用ビーム	同上
6	ISO 8116-8:1995	繊維機械及び付属品～巻き付け用ビーム～ 第8部: 振れ許容差の定義及び測定方法	同上
7	ISO 11825:1995	繊維機械及び付属品～編組用べら針～シャンク幅 及びフックの高さの調整	締切:2017.03.14 (開始:2017.01.15)

#### (4)専門委員会(TC72)及びSC(分科委員会)の動静

任期満了にともなうSC3の委員長選任について諮問があり、互選の結果、再任された。

##### ◇SC3<製布機械>の委員長選任

- ・委員長: Mr. Peter STOCKMANN(ドイツ)<再任>
- ・任期: 2016年1月から向こう3年間
- ・投票結果: 投票総数(Pメンバー)15、うち賛成13、棄権2、反対0
- ・投票締切: 2016年12月13日

## 別紙2. 会員への情報提供

(印刷物の配布に加えネットを介しての情報提供を含む。)

- 4月14日 労働安全衛生法施行令の一部改正について
- 4月15日 繊維機械統計(平成28年2月分)の送付
- 4月18日 熊本地方を中心とする地震について
- 5月 6日 モンゴルEPA発効前セミナーについて
- 5月10日 JETRO通商広報より
- 5月20日 繊維機械統計(平成28年3月分)の送付
- 5月23日 日本知的財産協会主催グローバルビジネスシンポジウムのご案内
- 6月 1日 第37回優秀省エネルギー機器表彰候補募集のご案内
- 6月13日 大河内賞受賞候補者推薦のお願い
- 6月14日 繊維機械統計(平成28年4月分)の送付
- 6月27日 全国発明表彰募集のご案内
- 7月 8日 バングラデシュにおける襲撃事案を受けた海外安全対策セミナーについて
- 7月13日 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金について
- 7月13日 繊維機械統計(平成28年5月分)の送付
- 7月20日 中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業費補助金について
- 8月15日 繊維機械統計(平成28年6月分)の送付
- 8月23日 賃上げに係る支援策につて
- 9月 9日 繊維機械統計(平成28年1～6月分)の送付
- 9月14日 繊維機械統計(平成28年7月分)の送付
- 10月 4日 緊急地震速報の全国訓練について
- 10月11日 特許庁任期付き職員の募集について
- 10月12日 都内大規模停電の影響について
- 10月17日 繊維機械統計(平成28年8月分)の送付
- 10月28日 中堅・中小製造業向けのIOTを活用した先進取組事例の募集開始について
- 11月 1日 ロボット関連の平成28年度補正予算・平成29年度予算概算要求について
- 11月 2日 労働安全衛生規則の一部の改正について

- 11月15日 平成28年度ものづくり補助金公募開始について
- 11月22日 繊維機械統計(平成28年9月分)の送付
- 12月 7日 労働安全衛生法の改正について
- 12月16日 繊維機械統計(平成28年10月分)の送付
- 1月10日 豊田芳年顧問計報のご案内
- 1月25日 繊維機械統計(平成28年11月分)の送付
- 1月25日 労働安全規則の一部の改正について
- 2月 6日 平成29年度地方発明表彰のご案内
- 2月 8日 ロボット導入促進のためのシステムインテグレーション育成事業のご案内
- 2月15日 繊維機械統計(平成28年12月分)の送付
- 3月14日 平成29年度工業統計調査実施のご案内
- 3月21日 Japan ROBOT Database System の拡充について
- 3月23日 日織協 IoT 情報 ロボット導入実証事業成果発表会について
- 3月23日 繊維機械統計(平成29年1月分)の送付
- 3月30日 日織協 IoT 情報 『スマートものづくり応援 IoT 事例ハンドブック』のお知らせ